

「第2次松阪市環境基本計画-中間見直し版-(案)」に対する意見と市の考え方

No.	計画記述箇所 (ページ・行数等)	意見の内容 (要約)	意見に対する市の考え方
1	P22	目標③で最終目標値が「現状から増やさない」と記載されていますが、「現状」とは何を示しているのかが不明確です。	「現状」とは基準年度実績値（平成28年度）を示しておりますが、より明確な表現とするため、「現状」を「基準年度」に修正しました。
2	P29	太陽光パネル設置について、公共施設に必ず設置してほしい。	脱炭素社会の実現に向けた市の取組みとして、P29に公共施設への太陽光発電設備について記載しており、賛成のご意見として原案のとおりとします。
3		難しい言い回しがあるので、文章の表記を見直し、小学生でもわかるような表現としてください。	記載内容を再度確認し、専門的と思われる単語については脚注を追加します。ただし、環境基本計画という特性上、やむを得ず専門的な文章を用いる部分もあります。
4		人類の発展に伴って、エネルギーの使用量が増えることは当然であり、脱炭素ではなく低炭素を目指すべきである。	2050年までに温室効果ガスを実質ゼロとする「脱炭素社会」の構築を目指すことは、国・県においても目標としています。本計画は、「脱炭素社会」を2050年までに実現することを目指して、脱炭素への取組を強化していきます。

上記意見の募集結果を踏まえ、市の考え方（政策案との差異を含む。）欄に記載の内容について、本計画の内容を適宜修正します。

なお、提出意見のほか、文中の細かな字句や図表のバランス、デザイン等をあわせて修正しています。